

箕輪富男先生（林野庁東北森林管理局長）

略歴

- 1991 年 岩手大学農学部林学科卒業
- 1991 年 農林水産省入省（林野庁のほか、石川県白峰村（現白山市）
佐賀県庁、環境省関東地方環境事務所等に勤務）
- 2020 年 林野庁森林利用課長
- 2022 年 林野庁治山課長
- 2023 年 国立研究開発法人森林研究・整備機構理事（林木育種センター所長）
- 2025 年 7 月 現職



＊今回講演

「森の園、木の街の実現に向けて」～森と木の国・秋田から～について

秋田県は県土の 7 割が森林で覆われた「森の国」です。また、森林の半分は、先人が植えて、育ててきたスギなどの人工林ですが、今、その多くが本格的な利用期を迎えています。この恵まれた人工林資源を活かし、住宅やオフィス、身の回りで木材を使う「木の街」づくりを進めることが、地域そして地球を元気にすることにつながるという話をしたいと思います。

小川孔輔先生（法政大学名誉教授、日本フローラルマーケティング協会会長）

略歴

能代市出身

- 1974 年 東京大学経済学部卒業
- 1976 年 東京大学大学院経済学研究科修士（経済学）
- 1986 年 法政大学経営学部教授（～2009 年）
- 2000 年 日本フローラルマーケティング協会会長
- 2006 年 MPS ジャパン創業、取締役
- 2024 年 公益財団法人ランナーズ財団理事
- 現在は上記のほか、経営学者、エッセイスト。
東京消防庁葛飾区本田消防団員などを務める。



＊今回講演

「木都能代への期待と木材産業の未来」について

キーワード: 主役と脇役、過去と未来、未来への選択肢

はじめに、キーワードを出して、私の故郷でもある木都能代の過去と現在の姿（中国木材との結びつき等）、そして他の産業等を例に未来への選択肢をあげてみます。
その後、その話を経済環境等も含めて詳しく説明し、最後に能代の木材産業の発展に向けて、いくつかの提案と個人的な期待も込めて話をしたいと思います。